

設計

検算

第 号	工 事 設 計 書	
	事 業 名	令和8年度 道路メンテナンス事業
	工 事 名	伊沢谷橋補修工事(第3工区)
	位 置	阿波市阿波町綱懸
	橋梁補修工事 工事費 円也 工 事 価 格 消費税相当額	
工 概	事 要	L= 22.4 m W= 6.7 m 橋梁補修工一式 構造物補修工 1.0式、橋梁塗装工 A=250m2 主桁補修工 1.0式 支承補修工 1.0式 伸縮装置補修工 1.0式 仮設工 1.0式
起 理	工 由	

執 行 年 度	令和 8 年度
工 事 名	伊沢谷橋補修工事（第3工区）
変 更 回 数	
諸 経 費 区 分	公共 令和08年度
工 種 区 分	橋梁保全工事
単 価 適 用 年 月 日	令和08年08月01日 公共
単 価 地 区	徳島東部 1
機 損 適 用 年 月 日	令和08年 公共機械損料
歩 掛 適 用 年 月 日	令和08年07月 公 共
施工地域・施工場所	補正無し
前払金支出割合区分	3 5 %を超え 4 0 %以下
契約保証に係る補正	発注者が金銭的保証を必要とする場合
現 場 環 境 改 善 費	計上しない

総括表					
費目・工種・種別・細目	数量	単位	単価	金額	明細単価番号 摘要
工事費	1	式			
本工事費	1	式			
橋梁保全工事02	1	式			
合計					

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
橋梁保全工事02	1	式			
構造物補修工	1	式			
断面修復工	1	式			
断面修復工(左官工法) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有	1	構造物			施 1 号
ひび割れ補修工	1	式			
浸透性球状樹脂塗布工法 RC床版（上向き施工）	1	式			
ひび割れ部清掃	357	m			施 2 号
塗布浸透接着 アルファテック388	357	m			施 3 号
仕上げ サンダーケレン	357	m			施 4 号
浸透性球状樹脂塗布工法 地覆・親柱工、下部工（横向き施工）	1	式			
ひび割れ部清掃	24	m			施 5 号
塗布浸透接着 アルファテック388	24	m			施 6 号
仕上げ サンダーケレン	24	m			施 7 号
殻運搬処理工	1	式			
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) 運搬距離6.9km	0.1	m3			施 8 号
コンクリート塊(無筋) 最大径32cm×41.5cm×76cm	0.1	m3			
橋梁塗装工	1	式			
現場塗替塗装工 鋼桁部	1	式			
塗膜剥離剤工	1	式			

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
塗膜剥離剤塗布・塗膜除去 鈑桁・箱桁構造 時間制限無 機労 昼間 1回	250	m2			施 9 号
廃材の回収・積込 時間制限無 昼間	250	m2			施 10 号
素地調整	1	式			
塗替塗装 素地調整1種ケレン:プラスト処理 かす回収・積込有	250	m2			施 11 号
橋梁塗装工	1	式			
塗替塗装 下塗 有機シンクリッチェント:1層 スプレー	250	m2			施 12 号
塗替塗装 下塗 弱溶剤形変性エポキシ樹脂:2層 スプレー	250	m2			施 13 号
塗替塗装 中塗 弱溶剤形ふっ素樹脂 赤系 スプレー	250	m2			施 14 号
塗替塗装 上塗 弱溶剤形ふっ素樹脂 赤系 スプレー	250	m2			施 15 号
現場塗替塗装工 高欄部	1	式			
素地調整	1	式			
塗替塗装 素地調整3種ケレンA	49	m2			施 16 号
防護柵塗装工	1	式			
塗替塗装 下塗 鉛・クロムフリー錆止めペイント:2層 はけ・ローラー	49	m2			施 17 号
塗替塗装 中塗 長油性フタル酸樹脂 濃彩 はけ・ローラー	49	m2			施 18 号
塗替塗装 上塗 長油性フタル酸樹脂 濃彩 はけ・ローラー	49	m2			施 19 号
主桁補修工	1	式			
主桁補修工	1	式			
芯出し素地調整 鋼材面用	0.12	m2			施 20 号

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
孔食部補修工	1	箇所			施 21 号
鋼桁孔明工（極小規模） φ 22.5 SM490 t≦30 水平及び下向き	7	本			施 22 号
材料費 SM490A, SS400, S10T	1	式			単 1 号
補強部材取付工（ボルトによる補強部材） G≦20	1	部材			施 23 号
高力ボルト本締工（極小規模）	7	本			施 24 号
ビテンール仕上げ工	7	本			施 25 号
支承補修工	1	式			
支承金属溶射工 線支承 反力1,500KN以下	1	式			
材料費	6	基			単 2 号
潤滑性防錆剤, プラスト, 金属溶射, 封孔処理 数量少量による労務補正 (2.5)	6	基			施 26 号
仕上げ塗装 数量少量による労務補正 (2.5)	6	基			施 27 号
諸雑費	38	%			
部材取替工	1	式			
支承ビテンプレート取替工 80×25×115(SS400)	5	箇所			施 28 号
支承ナット取替工	7	箇所			施 29 号
伸縮装置補修工	1	式			
伸縮装置止水工 A1	1	式			
乾式止水材材料費 A1 パリアレックスM No.12同等品	1	箇所			施 30 号
下地処理・乾式止水材設置工 パリアレックスM No.12同等品	6.8	m			施 31 号

本工事費内訳書

費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
支持金具設置工 ハリアフレックスM No.12同等品	2.2	m			施 32 号
防塵材FP設置工 ハリアフレックスM No.12同等品	1	箇所			施 33 号
仮設工	1	式			
足場工 足場共用日数4月	1	式			
床版補強用足場 タイプ-A1 吊足場（桁高h<1.5）	140	m2			施 34 号
床面シート張り 防護工 足場材の搬入・搬出必要	140	m2			施 35 号
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工 組立解体費+損料 橋梁路面からの足場材搬入	140	m2			施 36 号
プラスト用養生シート工 組立解体費+損料 橋梁路面からの足場材搬入	140	m2			施 37 号
床版補強足場 タイプ-B 両面朝顔	140	m2			施 38 号
防護工 足場材の搬入・搬出必要 両面朝顔 シート張防護	140	m2			施 39 号
橋梁地覆補修足場・防護工 タイプ E シート	37	m2			施 40 号
単管足場	70	掛m2			施 41 号
交通管理工	1	式			
交通誘導警備員 B	14	人日			施 42 号
直接工事費計					
共通仮設費計	1	式			
共通仮設費（積上げ）	1	式			
安全費	1	式			
環境対策資機材	1	式			単 3 号

本工事費内訳書					
費 目 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 目	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
安全衛生保護具	1	式			単 4 号
技術管理費	1	式			
近接調査計測工	0.12	m2			施 43 号
共通仮設費(率化)	1	式			
共通仮設費率分	1	式			
純工事費	1	式			
現場管理費	1	式			
工事原価	1	式			
一般管理費等	1	式			
工事価格	1	式			
消費税等相当額	1	式			
合計					

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

第 1 号 単価表					
材料費 SM490A, SS400, S10T					
1 式 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
切板（ひも付） SM490A 12-25mm t ≤ 50mm	0.008	t			
切板（ひも付） 板厚エキストラ 12-25mm t9mm	0.008	t			
切板（ひも付） 単質別・計上別エキストラ 寸法切り（S）2kg超-50kg以下	0.008	t			
切板（ひも付） 孔あけ加工エキストラ（丸孔） t ≤ 12mm φ ≤ 25mm	14	箇所			
切板（ひも付） SS400 12-25mm	0.007	t			
切板（ひも付） 板厚エキストラ 12-25mm t9mm	0.007	t			
切板（ひも付） 単質別・計上別エキストラ 寸法切り（S）2kg超-50kg以下	0.007	t			
切板（ひも付） 孔あけ加工エキストラ（丸孔） t ≤ 12mm φ ≤ 25mm	14	箇所			
摩擦接合用高力ボルト トルシア S10T M20×75	7	組			
注入材 エポキシ	0.327	kg			
計					
単位当たり					

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

第 3 号 単価表					
環境対策資機材					
1 式 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
簡易セキリテイルム	1	台			
負圧集塵装置 5～7m3/min	6	台			
基本管理費 負圧集塵装置	6	台			
負圧集塵装置用1次フィルター	66	枚			
負圧集塵装置用2次フィルター	13	枚			
負圧集塵装置用HEPAフィルター	6	枚			
吸気用ダクト 10m（ベックリアダクト）	5	本			
排気用ダクト 100m（ポリダクト）	0.5	本			
真空掃除機	6	台			
基本管理費 真空掃除機	6	台			
真空掃除機用1次フィルター	13	枚			
真空掃除機用HEPAフィルター 2次とHEPA兼用タイプ	6	枚			
エアシャワー	1	台			
基本管理費 エアシャワー	1	台			
エアシャワー用1次フィルター	2	枚			
エアシャワー用HEPAフィルター	1	枚			
計					
単位当たり					

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

阿波市

阿波市

阿波市

阿波市

[illegible]

阿波市

阿波市

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

第 21 号 施工単価表					
孔食部補修工					
1 箇所 当り					
名 称 ・ 規 格	数 量	単位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
橋りょう世話役	1	人			
橋りょう特殊工	2	人			
普通作業員	1	人			
セラミック金属補修特殊パテ ラフタック (1110) 同等品	1	組			
専用補修テープ ラフタック7520 100mm×30mm	1	組			
専用クリーナー ラフタック7020 200cc	1	組			
機械経費 孔食部補修	1	式			
諸雑費	1	式			
計					
単位当たり					

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

第 30 号 施工単価表

乾式止水材材料費 A1 ハリアレックスM No.12同等品

1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	明細単価番号 摘 要
乾式止水材 ハリアレックスM No.12同等品	6.756	m			
防塵フォームPE ポリエチレンフォーム	11.252	l			
エポキシ樹脂塗料 エポキシ系	0.527	kg			
プライマーAQ-1 シリコン系D3	0.088	kg			
接着剤 シリコン系	1.317	l			
シーリング材 シリコン系	2.773	l			
端部シーリング材 マスター300LS	0.659	l			
支持金具 L75*40*6 SS0400 メッキ	8	個			
防塵材FP EPDMフォーム	2.28	l			
防塵材プライマー シリコン系D3	0.005	kg			
防塵材FP用シーリング材 シリコン系	0.19	l			
計					
単位当たり					

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

伊沢谷橋補修工事（第3工区）

[illegible]

阿波市

[illegible]

数 量 総 括 表								
工事区分・工種	種別・細別・規格	単位	数量	摘 要				
橋梁補修								
橋梁塗装工			分割無施工	第1分割	第2分割	第3分割	第4分割	
	現場塗替塗装工							
	Rc-Ⅰ 塗装系	m2	1250	500	500	250	---	
	素地調整1種(湿式塗膜剥離剤工)							
	防食下地 有機ジンクリッチペイント							
	下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗							
	下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗							
	中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗							
	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗							
	Ra-Ⅲ 塗装系	m2	246	98	98	49	---	
	素地調整3種							
	下塗り 鉛・クロムフリーさび止めペイント(鋼鈑露出部のみ)							
	下塗り 鉛・クロムフリーさび止めペイント							
	下塗り 鉛・クロムフリーさび止めペイント							
	中塗り 長油性フタル酸樹脂塗料中塗							
	上塗り 長油性フタル酸樹脂塗料上塗							
	素地調整工							
	研削材回収・積込工	m2	1250	500	500	250	---	
	研削材運搬・処分工	t	50.0	20.0	20.0	10.0	---	
	湿式塗膜剥離剤工							
	塗膜剥離剤塗布・塗膜除去							
	水性剥離剤, 1回塗り	m2	1250	500	500	250	---	
	1kg/m ² ×1回							
	剥離剤及び塗料かす回収・積込工	m2	1250	500	500	250	---	
	剥離剤及び塗料かす運搬・処分工	t	3.8	1.5	1.5	0.5	---	

数 量 総 括 表								
工事区分・工種	種別・細別・規格	単位	数量	摘 要				
橋梁補修								
主桁工補修	鋼材減肉部・孔食部補修工		分割無施工	第1分割	第2分割	第3分割	第4分割	
	近接調査計測工	m2	0.12	---	---	0.12	---	
	芯出し調整工	m2	0.12	---	---	0.12	---	
	金属パテ充填工							
	使用材料							
	セラミック金属補修特殊パテ	(kg)	(0.273)	---	---	(0.273)	---	
	ラスタップ(E)1110同等品	セット	1	---	---	1	---	
	専用補修テープ							
	ラスタップ7520同等品	セット	1	---	---	1	---	
	100mm×30巻							
	専用クリーナー							
	ラスタップ7020同等品	セット	1	---	---	1	---	
	鋼桁孔明工							
	φ22.5孔	孔	7	---	---	7	---	
	鋼材							
	SM490A t=9mm(孔明け加工)	枚	2	---	---	2	---	
	PL 234×9×250	(kg)	(8)	---	---	(8)	---	
	SS400 t=9mm(孔明け加工)	枚	2	---	---	2	---	
	PL 214×9×230	(kg)	(7)	---	---	(7)	---	
	TCB M20×75(S10T)	組	7	---	---	7	---	
	高力ボルト本締工							
	TCB M20	本	7	---	---	7	---	
	ピンテール仕上げ工							
	TCB M20	本	7	---	---	7	---	
	エポキシ樹脂充填工							
	エポキシ樹脂系	kg	0.284	---	---	0.284	---	

数 量 総 括 表				
工事区分・工種	種別・細別・規格	単位	数量	摘 要
橋梁補修				
床版工補修				
	断面修復工			
	左官工法			
	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有	式	1	構造物当り数量で計上
	コンクリートはつり			
	左官(プライマー・仕上げ含む)			
	ひび割れ補修工			
	低圧注入工法 → 浸透性球状樹脂塗布工法（上向き）			
	シーリング材	式	1	構造物当り数量で計上
	ポリエステル樹脂系			
	注入材			
	エポキシ樹脂系			
	低圧注入器具			
地覆・親柱工補修				
	断面修復工			
	左官工法			
	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有	式	1	構造物当り数量で計上
	コンクリートはつり			
	左官(プライマー・仕上げ含む)			
	ひび割れ補修工			
	低圧注入工法 → 浸透性球状樹脂塗布工法（横向き）			
	シーリング材	式	1	構造物当り数量で計上
	ポリエステル樹脂系			
	注入材			
	エポキシ樹脂系			
	低圧注入器具			

[illegible]

数 量 総 括 表								
工事区分・工種	種別・細別・規格	単位	数量	摘 要				
橋梁補修								
伸縮装置工補修			分割無施工	第1分割	第2分割	第3分割	第4分割	
	伸縮装置止水工							
	止水工材料費							
	乾式止水材	m2	40.536	20.268	13.512	6.756	---	
	バリアフレックス-M(N0.12)同等品							
	防塵フォームPE	L	67.512	33.756	22.504	11.252	---	
	ポリエチレンフォーム							
	エポキシ樹脂塗料	kg	3.162	1.581	1.054	0.527	---	
	エポキシ系							
	プライマー	kg	0.528	0.264	0.176	0.088	---	
	シリコン系D3							
	接着剤	kg	7.902	3.951	2.634	1.317	---	
	エポキシ系							
	シーリング材	kg	16.638	8.319	5.546	2.773	---	
	シリコン系							
	端部シーリング材	kg	3.954	1.977	1.318	0.659	---	
	シリコン系(マスター300LS)							
	支持金具	個	48	24	16	8	---	
	L75×40×6×200, SS400							
	防塵材FP	L	13.110	6.840	3.990	2.280	---	
	EPDMフォーム							
	防塵材プライマー	kg	0.030	0.015	0.010	0.005	---	
	シリコン系(D3)							
	防塵材FP用シーリング材	L	1.132	0.570	0.372	0.190	---	
	シリコン系							
	下地処理・乾式止水材設置	m	40.536	20.268	13.512	6.756	---	
	支持金具設置	式	1	1	1	1	---	
	防塵材FP設置	箇所	6	3	2	1	---	

[illegible]

[illegible]

工 種	数量集計表								
種別・細別・規格		記号	計 算 式				単位	小 計	合 計
■1構造物当り数量集計									
断面修復工									
左官工法			施工分割	RC床版	地覆・親柱工	下部工(車道橋)			
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有			第1分割	0.033	0.048	0.048	m ³	0.129	
備考			第2分割	0.022	0.089	0.040	m ³	0.151	
コンクリートはつり			第3分割	0.010	0.040	0.006	m ³	0.056	0.336
左官(プライマー・仕上げ含む)									
ひび割れ補修工			施工分割	RC床版	地覆・親柱工	下部工(車道橋) 下部工(歩道橋)			
低圧注入工法			第1分割	850.23	1.95	62.85 3.15	m	918.18	
→	浸透性球形樹脂塗布工法		第2分割	1159.44		41.05 0.90	m	1201.39	
			第3分割	356.58	0.15	19.70 3.90	m	380.33	2499.90
			上向き		横向き				
シーリング材			施工分割	RC床版	地覆・親柱工	下部工(車道橋) 下部工(歩道橋)			
ポリエステル樹脂系			第1分割	86.723	0.199	6.411 0.321	kg	93.65	
			第2分割	118.263		4.187 0.092	kg	122.54	
			第3分割	36.371	0.015	2.009 0.398	kg	38.79	254.99
注入材			施工分割	RC床版	地覆・親柱工	下部工(車道橋) 下部工(歩道橋)			
エポキシ樹脂系			第1分割	5.765	0.024	2.436 0.107	kg	8.33	
			第2分割	7.861		1.669 0.031	kg	9.56	
			第3分割	2.418	0.002	0.742 0.168	kg	3.33	21.22
低圧注入器具			施工分割	RC床版	地覆・親柱工	下部工(車道橋) 下部工(歩道橋)			
			第1分割	2834	7	210 11	個	3062	
			第2分割	3865		137 3	個	4005	
			第3分割	1189	1	66 13	個	1269	8336

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

塗装面積集計表

部材別塗装面積

1橋梁当り数量 Rc-I 塗装系

径間名等	径間・ブロック数	1径間面積	面積 (m2)
1, 5径間 (鋼鈑桁)	2	249.95	499.90
2, 3, 4径間 (鋼鈑桁)	3	250.34	751.02
合計			1,250.92 m2/橋

施工分割数量 Rc-I 塗装系

径間名等	径間・ブロック数	1径間面積	面積 (m2)
第1分割 2, 3径間	2	250.34	500.68
合計			500.68 m2/分割
第2分割 4, 5径間	1	250.34	250.34
	1	249.95	249.95
合計			500.29 m2/分割
第3分割 1径間	1	249.95	249.95
合計			249.95 m2/分割

1径間当り数量 Rc-I 塗装系

1, 5径間 (鋼鈑桁)

ブロック名	ブロック数	1ブロック面積	面積 (m2)
主桁 G1, G3	2	69.25	138.50
	1	70.44	70.44
横桁 中間対傾構	2	5.07	10.14
端対傾構	2	6.58	13.16
分配横桁	1	10.94	10.94
排水装置 排水管	4	0.61	2.44
床版 床版端部鋼鈑	1	4.33	4.33
合計			249.95 m2/径間

2, 3, 4径間 (鋼鈑桁)

ブロック名	ブロック数	1ブロック面積	面積 (m2)
PL G1, G3	2	69.16	138.32
	1	71.00	71.00
L 中間対傾構	2	5.07	10.14
端対傾構	2	6.58	13.16
分配横桁	1	10.94	10.94
排水装置 排水管	4	0.61	2.44
床版 床版端部鋼鈑	1	4.34	4.34
合計			250.34 m2/径間

1橋梁当り数量 Ra-III 塗装系

径間名等	径間・ブロック数	1橋面積	面積 (m2)
全径間	1	245.82	245.82
合計			245.82 m2/橋

施工分割数量 Ra-III 塗装系

径間名等	径間・ブロック数	1径間面積	面積 (m2)
第1分割 2, 3径間	2	49.164	98.33
合計			98.33 m2/分割
第2分割 4, 5径間	2	49.164	98.33
合計			98.33 m2/分割
第3分割 1径間	1	49.164	49.16
合計			49.16 m2/分割

鋼板桁塗装面積計算書

主桁

ブロック:1, 5径間G1, G3(1本当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
PL	200x12	10.590	1	片面	考慮	0.224	2.372	2.37	U-Flg PL
PL	200x12	11.690	1	片面	考慮	0.224	2.619	2.62	U-Flg PL
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	1100x9	10.590	1	両面		2.200	23.298	23.30	Web PL
PL	1100x9	11.690	1	両面		2.200	25.718	25.72	Web PL
PL	90x9	0.300	4	両面		0.180	0.054	0.22	足場取付PL
PL	100x12	1.100	7	両面		0.200	0.220	1.54	V-Stiff
PL	90x9	1.100	16	両面		0.180	0.198	3.17	V-Stiff
PL	-200x	0.535	4	片面		-0.200	-0.107	-0.43	控除(落橋防止)
PL	-540x	0.600	2	片面		-0.540	-0.324	-0.65	控除(落橋防止)
PL	200x14	3.740	2	両面	考慮	0.428	1.601	3.20	L-Flg
PL	320x19	6.000	2	両面	考慮	0.678	3.295	6.59	L-Flg
PL	320x25	2.800	1	両面	考慮	0.690	1.932	1.93	L-Flg
PL	-200x	0.200	2	片面		-0.200	-0.040	-0.08	控除(SOLE PL)
PL	-86x	0.280	2	片面		-0.086	-0.024	-0.05	控除(変位制限)
PL	-200x	0.340	1	片面		-0.200	-0.068	-0.07	控除(落橋防止)
PL	-75x	0.200	4	片面		-0.075	-0.015	-0.06	控除(落橋防止)
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	80x9	0.600	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.012	0.012	0.02	U-Spl
PL	180x9	0.760	4	側面	板厚のみ(4辺)	0.017	0.017	0.07	W-Spl
PL	310x9	0.680	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.018	0.018	0.04	W-Spl
PL	140x16	0.890	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.033	0.033	0.07	L-Spl
PL	320x19	0.890	1	側面	板厚のみ(4辺)	0.046	0.046	0.05	L-Spl
BN	RIV φ 22(片面)		16			0.00038	0.00038	0.01	Rivet(U-Flg)
BN	RIV φ 22(両面)		64			0.00075	0.00075	0.05	Rivet(Web)
BN	RIV φ 22(両面)		32			0.00075	0.00075	0.02	Rivet(L-Flg)

1ブロック合計

69.25 m2

鋼板桁塗装面積計算書

主桁 ブロック:1, 5径間G2(1本当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
PL	200x12	10.590	1	片面	考慮	0.224	2.372	2.37	U-Flg PL
PL	200x12	11.690	1	片面	考慮	0.224	2.619	2.62	U-Flg PL
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	1100x9	10.590	1	両面		2.200	23.298	23.30	Web PL
PL	1100x9	11.690	1	両面		2.200	25.718	25.72	Web PL
PL	90x9	0.300	4	両面		0.180	0.054	0.22	足場取付PL
PL	100x12	1.100	10	両面		0.200	0.220	2.20	V-Stiff
PL	90x9	1.100	16	両面		0.180	0.198	3.17	V-Stiff
PL	-200x	0.535	4	片面		-0.200	-0.107	-0.43	控除(落橋防止)
PL	200x14	3.740	2	両面	考慮	0.428	1.601	3.20	L-Flg
PL	320x16	6.000	2	両面	考慮	0.672	3.266	6.53	L-Flg
PL	320x22	2.800	1	両面	考慮	0.684	1.915	1.92	L-Flg
PL	-200x	0.200	2	片面		-0.200	-0.040	-0.08	控除(SOLE PL)
PL	-86x	0.280	4	片面		-0.086	-0.024	-0.10	控除(変位制限)
PL	-200x	0.340	1	片面		-0.200	-0.068	-0.07	控除(落橋防止)
PL	-75x	0.200	4	片面		-0.075	-0.015	-0.06	控除(落橋防止)
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	80x9	0.600	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.012	0.012	0.02	U-Spl
PL	180x9	0.760	4	側面	板厚のみ(4辺)	0.017	0.017	0.07	W-Spl
PL	310x9	0.680	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.018	0.018	0.04	W-Spl
PL	140x16	0.890	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.033	0.033	0.07	L-Spl
PL	320x19	0.890	1	側面	板厚のみ(4辺)	0.046	0.046	0.05	L-Spl
BN	RIV φ 22(片面)		16			0.00038	0.00038	0.01	Rivet(U-Flg)
BN	RIV φ 22(両面)		64			0.00075	0.00075	0.05	Rivet(Web)
BN	RIV φ 22(両面)		32			0.00075	0.00075	0.02	Rivet(L-Flg)

1ブロック合計

70.44 m2

鋼板桁塗装面積計算書

主桁 ブロック:2, 3, 4径間G1, G3(1本当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
PL	200x12	10.590	1	片面	考慮	0.224	2.372	2.37	U-Flg PL
PL	200x12	11.690	1	片面	考慮	0.224	2.619	2.62	U-Flg PL
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	1100x9	10.590	1	両面		2.200	23.298	23.30	Web PL
PL	1100x9	11.690	1	両面		2.200	25.718	25.72	Web PL
PL	90x9	0.300	4	両面		0.180	0.054	0.22	足場取付PL
PL	100x12	1.100	7	両面		0.200	0.220	1.54	V-Stiff
PL	90x9	1.100	16	両面		0.180	0.198	3.17	V-Stiff
PL	-540x	0.600	4	片面		-0.540	-0.324	-1.30	控除(落橋防止)
PL	200x14	3.740	2	両面	考慮	0.428	1.601	3.20	L-Flg
PL	320x19	6.000	2	両面	考慮	0.678	3.295	6.59	L-Flg
PL	320x25	2.800	1	両面	考慮	0.690	1.932	1.93	L-Flg
PL	-200x	0.200	2	片面		-0.200	-0.040	-0.08	控除(SOLE PL)
PL	-86x	0.280	2	片面		-0.086	-0.024	-0.05	控除(変位制限)
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	80x9	0.600	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.012	0.012	0.02	U-Spl
PL	180x9	0.760	4	側面	板厚のみ(4辺)	0.017	0.017	0.07	W-Spl
PL	310x9	0.680	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.018	0.018	0.04	W-Spl
PL	140x16	0.890	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.033	0.033	0.07	L-Spl
PL	320x19	0.890	1	側面	板厚のみ(4辺)	0.046	0.046	0.05	L-Spl
BN	RIV φ 22(片面)		16			0.00038	0.00038	0.01	Rivet (U-Flg)
BN	RIV φ 22(両面)		64			0.00075	0.00075	0.05	Rivet (Web)
BN	RIV φ 22(両面)		32			0.00075	0.00075	0.02	Rivet (L-Flg)

1ブロック合計

69.16 m2

鋼板桁塗装面積計算書

主桁 ブロック:2, 3, 4径間G2(1本当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
PL	200x12	10.590	1	片面	考慮	0.224	2.372	2.37	U-Flg PL
PL	200x12	11.690	1	片面	考慮	0.224	2.619	2.62	U-Flg PL
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	1100x9	10.590	1	両面		2.200	23.298	23.30	Web PL
PL	1100x9	11.690	1	両面		2.200	25.718	25.72	Web PL
PL	90x9	0.300	4	両面		0.180	0.054	0.22	足場取付PL
PL	100x12	1.100	10	両面		0.200	0.220	2.20	V-Stiff
PL	90x9	1.100	16	両面		0.180	0.198	3.17	V-Stiff
PL	200x14	3.740	2	両面	考慮	0.428	1.601	3.20	L-Flg
PL	320x16	6.000	2	両面	考慮	0.672	3.266	6.53	L-Flg
PL	320x22	2.800	1	両面	考慮	0.684	1.915	1.92	L-Flg
PL	-200x	0.200	2	片面		-0.200	-0.040	-0.08	控除(SOLE PL)
PL	-86x	0.280	4	片面		-0.086	-0.024	-0.10	控除(変位制限)
PL	-9x	22.280	1	片面		-0.009	-0.201	-0.20	控除
PL	80x9	0.600	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.012	0.012	0.02	U-Spl
PL	180x9	0.760	4	側面	板厚のみ(4辺)	0.017	0.017	0.07	W-Spl
PL	310x9	0.680	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.018	0.018	0.04	W-Spl
PL	140x16	0.890	2	側面	板厚のみ(4辺)	0.033	0.033	0.07	L-Spl
PL	320x19	0.890	1	側面	板厚のみ(4辺)	0.046	0.046	0.05	L-Spl
BN	RIV φ 22(片面)		16			0.00038	0.00038	0.01	Rivet (U-Flg)
BN	RIV φ 22(両面)		64			0.00075	0.00075	0.05	Rivet (Web)
BN	RIV φ 22(両面)		32			0.00075	0.00075	0.02	Rivet (L-Flg)

1ブロック合計

71.00 m2

鋼板桁塗装面積計算書

横桁 ブロック:中間対傾構(1箇所当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
L	L90x90x10	2.180	2			0.351	0.765	1.53	U-IB
PL	-85x	0.210	4	片面		-0.085	-0.018	-0.07	控除
PL	230x9	0.300	4	両面	考慮	0.478	0.143	0.57	Guss PL
PL	-90x	0.230	4	片面		-0.090	-0.021	-0.08	控除
PL	-85x	0.210	4	片面		-0.085	-0.018	-0.07	控除
PL	-95x	0.075	4	片面		-0.095	-0.007	-0.03	控除
L	L75x75x9	1.010	4			0.291	0.294	1.18	M-IB
PL	-75x	0.095	4	片面		-0.075	-0.007	-0.03	控除
PL	-75x	0.160	4	片面		-0.075	-0.012	-0.05	控除
PL	200x9	0.500	2	両面	考慮	0.418	0.209	0.42	Guss PL
PL	-75x	0.160	4	片面		-0.075	-0.012	-0.05	控除
PL	-45x	0.500	2	片面		-0.045	-0.023	-0.05	控除
L	L90x90x10	2.180	2			0.351	0.765	1.53	L-IB
PL	-45x	0.500	2	片面		-0.045	-0.023	-0.05	控除
PL	-85x	0.160	4	片面		-0.085	-0.014	-0.05	控除
PL	230x9	0.250	4	両面	考慮	0.478	0.120	0.48	Guss PL
PL	-85x	0.160	4	片面		-0.085	-0.014	-0.05	控除
PL	-90x	0.230	4	片面		-0.090	-0.021	-0.08	控除
BN	RIV φ 22(両面)		24			0.00075	0.00075	0.02	Rivet

1ブロック合計

5.07 m2

横桁 ブロック:端対傾構(1箇所当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
[	250x90x9x13	2.180	2			0.814	1.775	3.55	U-IB
PL	-220x	0.310	4	片面		-0.220	-0.068	-0.27	控除
PL	-90x	2.180	2	片面		-0.090	-0.196	-0.39	控除
PL	305x9	0.400	4	両面	考慮	0.628	0.251	1.00	Guss PL
PL	-90x	0.305	4	片面		-0.090	-0.027	-0.11	控除
PL	-220x	0.310	4	片面		-0.220	-0.068	-0.27	控除
PL	-75x	0.095	4	片面		-0.075	-0.007	-0.03	控除
L	L75x75x9	0.910	4			0.291	0.265	1.06	M-IB
PL	-75x	0.095	4	片面		-0.075	-0.007	-0.03	控除
PL	-75x	0.160	4	片面		-0.075	-0.012	-0.05	控除
PL	200x9	0.500	2	両面	考慮	0.418	0.209	0.42	Guss PL
PL	-75x	0.160	4	片面		-0.075	-0.012	-0.05	控除
PL	-45x	0.500	2	片面		-0.045	-0.023	-0.05	控除
L	L90x90x10	2.180	2			0.351	0.765	1.53	L-IB
PL	-45x	0.500	2	片面		-0.045	-0.023	-0.05	控除
PL	-85x	0.160	4	片面		-0.085	-0.014	-0.05	控除
PL	230x9	0.250	4	両面	考慮	0.478	0.120	0.48	Guss PL
PL	-85x	0.160	4	片面		-0.085	-0.014	-0.05	控除
PL	-90x	0.230	4	片面		-0.090	-0.021	-0.08	控除
BN	RIV φ 22(両面)		28			0.00075	0.00075	0.02	Rivet

1ブロック合計

6.58 m2

横桁 ブロック:分配横桁(1径間当り)

1ブロック合計	10.94 m2
---------	----------

1ブロック合計	0.61 m2
---------	---------

鋼板桁塗装面積計算書

床版端部鋼板 ブロック:1, 5径間(1箇所当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
PL	側面PL		1	片面			1.550	1.55	床版端部鋼板
PL	下面PL		2	片面			0.620	1.24	床版端部鋼板
PL	側面PL		1	片面			1.540	1.54	橋台部鋼板

1ブロック合計 4.33 m2

床版端部鋼板 ブロック:2~4径間(1径間当り)

形状	寸法(mm)	長さ(m)	員数	塗装面	板厚	単位面積	1組面積	面積 NET	部材名
PL	側面PL		2	片面			1.550	3.10	床版端部鋼板
PL	下面PL		2	片面			0.620	1.24	床版端部鋼板

1ブロック合計 4.34 m2

防護柵 ブロック:上下流側

1ブロック合計			245.82 m2
1径間当り数量	245.82	/ 5 =	49.164 m2

工 種	主桁工補修				
種別・細別・規格	記号	計 算 式		単位	小 計 合 計
鋼材減肉部・孔食部補修工		第3分割			
近接調査計測工		0.234×0.250×2		m2	0.12
芯出し調整工		0.234×0.250×2		m2	0.12
金属パテ充填工					
使用材料		減肉部 使用量2200kg/m3			
セラミック金属補修特殊パテ		孔食部 0.003×0.009×2200		kg	0.059
ラスタップ(E)1110同等品		減厚部 0.018×0.0045×2200 減厚t=4.5mmと推定		kg	0.178
		合計		kg	0.237
		ロス含む材料 0.237 × 1.150		kg	0.273
		使用材料 1kgセット		セット	1
専用補修テープ					
ラスタップ7520同等品				セット	1
100mm×30巻					
専用クリーナー					
ラスタップ7020同等品				セット	1
鋼桁孔明工					
φ22.5孔	7			孔	7
鋼材					
PL 234×9×250	2			枚	2
SM490A t=9mm(孔明け加工)		0.234×0.009×0.250×7850×2		kg	8
PL 214×9×230	2			枚	2
SS400 t=9mm(孔明け加工)		0.214×0.009×0.230×7850×2		kg	7
TCB M20×75(S10T)	7			組	7
1N・W付					

[illegible]

[illegible]

径間名	部材番号	記号	幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有								
1	床版01	T- 1	0.050	0.050		0.003	m2	
		U- 1	0.100	0.150		0.015	m2	
		T- 2	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 3	0.050	0.050		0.003	m2	
	小計					0.031	m2	
	床版04	T- 4	0.150	0.050		0.008	m2	
		T- 5	0.100	0.150		0.015	m2	
		T- 6	0.050	0.050		0.003	m2	
		U- 2	0.100	0.150		0.015	m2	
		T- 7	0.150	0.200		0.030	m2	
		T- 8	0.150	0.070		0.011	m2	
		T- 9	0.200	0.100		0.020	m2	
		T- 10	0.130	0.100		0.013	m2	
		T- 11	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 12	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 13	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 14	0.150	0.100		0.015	m2	
		H- 1	0.100	0.100		0.010	m2	
	小計					0.170	m2	径間小計 0.201m2
2	床版01	T- 15	0.100	0.050		0.005	m2	
		T- 16	0.450	0.150		0.068	m2	
		U- 3	0.200	0.150		0.030	m2	
		T- 17	0.100	0.050		0.005	m2	
		T- 18	0.050	0.050		0.003	m2	
	小計					0.111	m2	
	床版02	T- 19	0.070	0.070		0.005	m2	
	小計					0.005	m2	
	床版03	T- 20	0.130	0.100		0.013	m2	
	小計					0.013	m2	
	床版04	U- 4	0.100	0.150		0.015	m2	
		T- 21	0.100	0.050		0.005	m2	
		T- 22	0.100	0.200		0.020	m2	
		T- 23	0.150	0.100		0.015	m2	
		T- 24	0.050	0.050		0.003	m2	
		T- 25	0.050	0.070		0.004	m2	
		U- 5	0.100	0.050		0.005	m2	
	小計					0.067	m2	径間小計 0.196m2

※記号中の番号は損傷図で使用している番号を示す。アルファベットは損傷図の次の損傷を示す。
T=鉄筋露出, U=うき, H=剥離

径間名	部材番号	記号	幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	数量	単位	適用
左官工法 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理：有								
3	床版01	T- 26	0.050	0.050		0.003	m2	
		T- 27	0.110	0.100		0.011	m2	
		T- 28	0.200	0.100		0.020	m2	
		T- 29	0.150	0.150		0.023	m2	
		T- 30	0.100	0.100		0.010	m2	
		H- 2	0.200	0.100		0.020	m2	
		T- 31	0.160	0.200		0.032	m2	
		T- 32	0.170	0.220		0.037	m2	
		T- 33	0.050	0.050		0.003	m2	
		T- 34	0.150	0.200		0.030	m2	
		U- 6	0.150	0.070		0.011	m2	
	小計					0.200	m2	
	床版02	U- 7	0.150	0.130		0.020	m2	
		T- 35	0.120	0.500		0.060	m2	
	小計					0.080	m2	
	床版03	T- 36	0.130	0.100		0.013	m2	
	小計					0.013	m2	
	床版04	U- 8	0.200	0.100		0.020	m2	
		U- 9	0.150	0.150		0.023	m2	
		T- 37	0.500	0.050		0.025	m2	
		T- 38	0.150	0.150		0.023	m2	
		T- 39	0.200	0.250		0.050	m2	
		T- 40	0.100	0.100		0.010	m2	
		U- 10	0.200	0.100		0.020	m2	
	小計					0.171	m2	径間小計 0.464m2
4	床版01	T- 41	0.200	0.200		0.040	m2	
		H- 3	0.100	0.250		0.025	m2	
		T- 42	0.120	0.070		0.008	m2	
		T- 43	0.050	0.050		0.003	m2	
	小計					0.076	m2	
	床版04	T- 44	0.200	0.200		0.040	m2	
		T- 45	0.500	0.350		0.175	m2	
		T- 46	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 47	0.050	0.050		0.003	m2	
		T- 48	0.050	0.050		0.003	m2	
		T- 49	0.100	0.200		0.020	m2	
		T- 50	0.050	0.050		0.003	m2	
	小計					0.254	m2	径間小計 0.330m2
5	床版01	U- 11	0.300	0.230		0.069	m2	
		U- 12	0.100	0.170		0.017	m2	
	小計					0.086	m2	
	床版04	H- 4	0.050	0.250		0.013	m2	
		T- 51	0.100	0.070		0.007	m2	
	小計					0.020	m2	径間小計 0.106m2
	合計					1.297	m2	

※記号中の番号は損傷図で使用している番号を示す。アルファベットは損傷図の次の損傷を示す。
T=鉄筋露出, U=うき, H=剥離

[illegible]

径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)
1	床版0201	31	0.20	52.660					
	小計			52.660					
	床版0202	32	0.20	46.170					
	小計			46.170					
	床版0203	33	0.20	30.430					
	小計			30.430					
	床版0204	34	0.20	33.250					
	小計			33.250					
	床版0301	35	0.20	55.560					
	小計			55.560					
	床版0302	36	0.20	52.000					
	小計			52.000					
	床版0303	37	0.20	37.760					
	小計			37.760					
	床版0304	38	0.20	48.750					
	小計			48.750					
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計			356.580	

径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)
2	床版0201	90	0.20	35.280					
	小計			35.280					
	床版0202	91	0.20	27.670					
	小計			27.670					
	床版0203	92	0.20	35.990					
	小計			35.990					
	床版0204	93	0.20	39.770					
	小計			39.770					
	床版0301	94	0.20	58.920					
	小計			58.920					
	床版0302	95	0.20	46.950					
	小計			46.950					
	床版0303	96	0.20	54.210					
	小計			54.210					
	床版0304	97	0.20	52.320					
	小計			52.320					
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計			351.110	

径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)
3	床版0201	140	0.20	61.160					
	小計			61.160					
	床版0202	141	0.20	49.700					
	小計			49.700					
	床版0203	142	0.20	48.450					
	小計			48.450					
	床版0204	143	0.20	61.350					
	小計			61.350					
	床版0301	144	0.20	74.520					
	小計			74.520					
	床版0302	145	0.20	70.600					
	小計			70.600					
	床版0303	146	0.20	61.530					
	小計			61.530					
	床版0304	147	0.20	71.810					
	小計			71.810					
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計			499.120	

径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	径間	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)
5	床版0201	304	0.20	73.300					
	小計			73.300					
	床版0202	305	0.20	73.200					
	小計			73.200					
	床版0203	306	0.20	70.420					
	小計			70.420					
	床版0204	307	0.20	85.760					
	小計			85.760					
	床版0301	308	0.20	78.350					
	小計			78.350					
	床版0302	309	0.20	55.580					
	小計			55.580					
	床版0303	310	0.20	68.580					
	小計			68.580					
	床版0304	311	0.20	69.600					
	小計			69.600					
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計			574.790	

[illegible]

径間名	部材番号	記号	幅 (m)	幅 (m)	深さ (m)	数量	単位	適用
4	地覆0401	T- 28	0.080	0.090		0.007	m2	
		T- 29	0.080	0.060		0.005	m2	
		T- 30	0.070	0.060		0.004	m2	
		T- 31	0.090	0.080		0.007	m2	
		T- 32	0.080	0.090		0.007	m2	
		T- 33	0.080	0.090		0.007	m2	
		T- 34	0.100	0.090		0.009	m2	
		T- 35	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 36	0.090	0.090		0.008	m2	
		T- 37	0.090	0.080		0.007	m2	
		T- 38	0.090	0.100		0.009	m2	
		T- 39	0.070	0.090		0.006	m2	
	地覆0402	T- 40	0.800	0.120		0.096	m2	
		T- 41	1.800	0.120		0.216	m2	
		T- 42	0.100	0.120		0.012	m2	
		T- 43	0.100	0.120		0.012	m2	
		T- 44	0.100	0.120		0.012	m2	
	小計					0.434	m2	
5	地覆0501	T- 45	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 46	0.100	0.100		0.010	m2	
		T- 47	0.070	0.080		0.006	m2	
		T- 48	0.070	0.090		0.006	m2	
		T- 49	0.090	0.100		0.009	m2	
		T- 50	0.060	0.090		0.005	m2	
		T- 51	0.090	0.100		0.009	m2	
	小計					0.055	m2	
5	親柱		0.300	0.300		0.090	m2	平面
			0.300	0.880		0.264	m2	正面
			0.300	0.880		0.264	m2	正面
			0.350	0.100		0.035	m2	正面
			0.350	0.100		0.035	m2	正面
			0.300	0.880		0.264	m2	側面
			0.300	0.880		0.264	m2	側面
			0.400	0.100		0.040	m2	側面
			0.400	0.100		0.040	m2	側面
	小計					1.296	m2	
	合計					3.535	m2	

※記号中の番号は損傷図で使用している番号を示す。アルファベットは損傷図の次の損傷を示す。
T=鉄筋露出, U=うき, H=剥離, K=欠損

[illegible]

径間名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	径間名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	
1	地覆0101	1	0.30	0.150						
	小計			0.150						
2	地覆0201	2	0.30	0.150						
		3	0.30	0.100						
		4	0.30	0.300						
	小計			0.550						
	地覆0202	5	0.30	0.300						
		6	0.30	0.300						
		7	0.30	0.300						
	小計			0.900						
3	地覆0301	9	0.60	0.300						
		10	0.50	0.200						
	小計			0.500						
		※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計			2.100

工 種	支 承 工 補 修							
種別・細別・規格		記号	計 算 式			単位	小 計	合 計
支承防錆工								
潤滑油注入、金属溶射			6×5			基		30
線支承 (S-45型沓)			施工分割別数量集計					
			第1分割 6×2			基		12
			第2分割 6×2			基		12
			第3分割 6			基		6
部材取替え工								
ピンチプレート取替え工			35			箇所		35
			施工分割別数量集計					
			第1分割 14			箇所		14
			第2分割 16			箇所		16
			第3分割 5			箇所		5
ナット取替え工			39			箇所		39
			施工分割別数量集計					
			第1分割 16			箇所		16
			第2分割 16			箇所		16
			第3分割 7			箇所		7
材料								
PL-80x25x115(孔明け加工等)			35			枚		35
SS400			施工分割別数量集計					
			第1分割 14			枚		14
			第2分割 16			枚		16
			第3分割 5			枚		5
ナット			39			個		39
M30(1種)			施工分割別数量集計					
			第1分割 16			個		16
			第2分割 16			個		16
			第3分割 7			個		7

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

工 種	伸縮装置工補修				
種別・細別・規格	記号	計	算	式	単位 小 計 合 計
伸縮装置止水工					
止水工材料費					
防塵材FP用シーリング材					
シリコン系	A1	$(0.040 + 0.060) \times 0.025 \times 38 \times 0.002 \times 1000$		L	0.190
	P1	$(0.040 + 0.060) \times 0.025 \times 38 \times 0.002 \times 1000$		L	0.190
	P2	$(0.040 + 0.060) \times 0.025 \times 38 \times 0.002 \times 1000$		L	0.190
	P3	$(0.040 + 0.060) \times 0.025 \times 38 \times 0.002 \times 1000$		L	0.190
	P4	$(0.040 + 0.060) \times 0.025 \times 38 \times 0.002 \times 1000$		L	0.190
	A2	$(0.040 + 0.056) \times 0.025 \times 38 \times 0.002 \times 1000$		L	0.182
	合計			L	1.132
施工分割別数量集計		第1分割	P1, P2, P3		L 0.570
		第2分割	P4, A2		L 0.372
		第3分割	A1		L 0.190
下地処理・乾式止水材設置		6.756×6		m	40.536
施工分割別数量集計		第1分割	P1, P2, P3		m 20.268
		第2分割	P4, A2		m 13.512
		第3分割	A1		m 6.756
支持金具設置		1		式	1
施工分割別数量集計		第1分割	P1, P2, P3		式 1
		第2分割	P4, A2		式 1
		第3分割	A1		式 1
防塵材FP設置		6		箇所	6
施工分割別数量集計		第1分割	P1, P2, P3		箇所 3
		第2分割	P4, A2		箇所 2
		第3分割	A1		箇所 1

[illegible]

工 種	下部工補修(車道橋)								
種別・細別・規格	記号	計 算 式				単位	小 計	合 計	
ひび割れ補修工									
低圧注入工法		第1分割	P2, P3	27.80	+	35.05	m	62.85	
		第2分割	P4, A2	40.45	+	0.60	m	41.05	
		第3分割	P1	19.70			m	19.70	
シーラ材									
比重1.7	設計数量	第1分割	$0.030 \times 0.002 \times 1700 \times 62.85$				kg	6.411	
ポリエステル樹脂系		第2分割	$0.030 \times 0.002 \times 1700 \times 41.05$				kg	4.187	
		第3分割	$0.030 \times 0.002 \times 1700 \times 19.70$				kg	2.009	
注入材									
比重1.13									
エポキシ樹脂系		ひび割れ深さを10cmとして算出する。							
	設計数量	第1分割	$0.00060 \times 0.100 \times 1130 \times 2.950$				kg	0.200	
			$0.00050 \times 0.100 \times 1130 \times 1.700$				kg	0.096	
			$0.00040 \times 0.100 \times 1130 \times 14.000$				kg	0.633	
			$0.00035 \times 0.100 \times 1130 \times 1.550$				kg	0.061	
			$0.00030 \times 0.100 \times 1130 \times 42.650$				kg	1.446	
			合計				kg	2.436	
		第2分割	$0.00060 \times 0.100 \times 1130 \times 2.900$				kg	0.197	
			$0.00050 \times 0.100 \times 1130 \times 1.850$				kg	0.105	
			$0.00045 \times 0.100 \times 1131 \times 1.300$				kg	0.066	
			$0.00040 \times 0.100 \times 1130 \times 7.550$				kg	0.341	
			$0.00035 \times 0.100 \times 1130 \times 5.200$				kg	0.206	
			$0.00030 \times 0.100 \times 1130 \times 22.250$				kg	0.754	
			合計				kg	1.669	
		第2分割	$0.00050 \times 0.100 \times 1130 \times 1.800$				kg	0.102	
			$0.00040 \times 0.100 \times 1130 \times 1.100$				kg	0.050	
			$0.00035 \times 0.100 \times 1131 \times 3.550$				kg	0.141	
			$0.00030 \times 0.100 \times 1130 \times 13.250$				kg	0.449	
			合計				kg	0.742	

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)
P1橋脚	梁	2	0.30	0.750	P1橋脚	柱	10	0.35	0.550
		3	0.35	0.800			11	0.30	1.000
		4	0.35	1.100		小計			1.550
		5	0.30	1.100					
		6	0.30	1.100					
		7	0.50	1.100					
		8	0.30	0.850					
		9	0.30	0.200					
		12	0.30	1.100					
		13	0.30	0.800					
		14	0.30	1.100					
		15	0.30	0.550					
		16	0.30	0.500					
		17	0.30	0.600					
		18	0.30	0.600					
		19	0.40	1.100					
		20	0.35	1.100					
		21	0.30	0.700					
		22	0.30	1.000					
		23	0.30	0.800					
		24	0.30	0.500					
		25	0.50	0.700					
	小計			18.150					
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計			19.700	

下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)		
P2橋脚	梁	28	0.30	0.300	P2橋脚	柱	26	0.30	0.450		
		29	0.30	0.800			27	0.30	0.450		
		30	0.40	0.700			49	0.30	1.200		
		31	0.30	0.350			61	0.30	0.500		
		32	0.30	0.400			62	0.30	2.600		
		33	0.30	0.550			63	0.30	0.800		
		34	0.30	0.500			64	0.30	0.900		
		35	0.50	1.100			小計			6.900	
		36	0.30	0.800							
		37	0.30	0.250							
		38	0.30	0.400							
		39	0.30	1.000							
		40	0.30	0.350							
		41	0.30	0.900							
		42	0.30	0.450							
		43	0.40	0.600							
		44	0.30	0.450							
		45	0.40	0.650							
		46	0.30	0.450							
		47	0.30	0.500							
		48	0.30	1.500							
		50	0.30	0.700							
		51	0.40	0.600							
		52	0.30	0.800							
		53	0.60	1.100							
		54	0.30	0.800							
		55	0.40	0.900							
		56	0.30	0.300							
		57	0.35	0.800							
		58	0.30	0.700							
		59	0.50	0.600							
		60	0.30	0.600							
	小計			20.900							
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計		27.800				

下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)
P3橋脚	梁	67	0.30	1.100	P3橋脚	柱	65	0.30	0.600
		68	0.40	1.000			66	0.40	0.700
		69	0.40	1.100			77	0.30	1.100
		70	0.40	0.700			78	0.30	0.400
		71	0.30	0.300			79	0.30	0.400
		72	0.60	0.750			80	0.30	1.200
		73	0.40	1.100			81	0.30	1.500
		74	0.30	0.400			82	0.40	1.200
		75	0.30	0.650			83	0.40	1.900
		76	0.35	0.750			94	0.30	1.000
		84	0.30	1.100			95	0.30	0.800
		85	0.30	0.200			96	0.30	1.150
		86	0.40	0.950			97	0.30	1.300
		87	0.40	0.500			98	0.30	1.000
		88	0.60	1.100			99	0.30	0.700
		89	0.30	0.600			100	0.30	0.500
		90	0.30	1.100			101	0.40	0.700
		91	0.30	0.150			102	0.30	0.400
		92	0.40	0.700			103	0.30	0.500
		93	0.30	1.100			104	0.30	0.500
	小計			15.350		105	0.30	0.300	
						106	0.30	0.200	
						107	0.30	0.200	
						108	0.30	1.000	
						109	0.30	0.450	
						小計			19.700
※記号は損傷図で使用している番号を示す。					合計		35.050		

下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	下部工名	部材番号	記号	幅 (mm)	長さ (m)	
P4橋脚	梁	117	0.60	0.700	P4橋脚	柱	110	0.30	1.000	
		118	0.40	0.800			111	0.30	0.900	
		119	0.35	1.100			112	0.30	0.800	
		120	0.60	1.100			113	0.40	1.100	
		121	0.30	1.100			114	0.30	1.200	
		122	0.30	0.600			115	0.30	0.750	
		135	0.30	0.700			116	0.30	0.400	
		136	0.40	0.500			123	0.30	0.650	
		137	0.30	0.450			124	0.30	0.600	
		138	0.50	1.100			125	0.30	1.900	
		139	0.35	0.500			126	0.30	1.500	
		140	0.30	0.400			127	0.30	0.650	
		141	0.40	0.600			128	0.35	1.200	
		142	0.40	0.500			129	0.35	0.600	
		143	0.40	0.750			130	0.40	1.800	
		144	0.40	0.700			131	0.30	1.000	
		145	0.60	1.100			132	0.30	0.350	
		146	0.30	0.550			133	0.35	1.200	
		147	0.50	0.750			134	0.30	0.500	
		148	0.40	0.800			149	0.45	1.300	
	小計			14.800		150	0.30	1.600		
						151	0.30	0.950		
						152	0.30	1.200		
						153	0.30	1.500		
						154	0.30	1.000		
						小計			25.650	
※記号は損傷図で使用している番号を示す。				合計		40.450				

[illegible]

[illegible]

[illegible]

工 種	仮設工				
種別・細別・規格	記号	計	算	式	単位 小 計 合 計
足場工		歩車道橋共通で計上した。			
床版補強・塗替え塗装用足場					
吊り足場 (TYPE-A1)		A=W×L (W=地覆外縁端距離間の必要長, L=橋長または必要長)			
シート張り防護工		第1分割	6.70×22.28×2	m ²	299
		第2分割	6.70×(22.28+21.38)	m ²	293
		第3分割	6.70×21.38	m ²	143
剥離剤養生設備工					
剥離剤養生シート工		第1分割	6.70×22.28×2	m ²	299
TYPE-A1, TYPE-B		第2分割	6.70×(22.28+21.38)	m ²	293
		第3分割	6.70×21.38	m ²	143
素地調整養生設備工					
プラスト用養生シート工		第1分割	6.70×22.28×2	m ²	299
TYPE-A1, TYPE-B		第2分割	6.70×(22.28+21.38)	m ²	293
		第3分割	6.70×21.38	m ²	143
朝顔 (TYPE-B)					
両側朝顔		第1分割	6.70×22.28×2	m ²	299
シート張り防護工		第2分割	6.70×(22.28+21.38)	m ²	293
		第3分割	6.70×21.38	m ²	143
地覆補修足場 (TYPE E)		A=W1+0.8 (W1=地覆端～外桁中心間距離)			
		第1分割	(0.95+0.80)×(22.28×2)	m ²	78
		第2分割	(0.95+0.80)×(22.28+21.38)	m ²	76
		第3分割	(0.95+0.80)×21.38	m ²	37

[illegible]

環境対策資機材

塗膜除去工：	250	m ²	×	1	回塗り/50m ² /日	=	5	日
廃材の回収・積込：	250	m ²	×	1	回塗り/50m ² /日	=	5	日
剥離剤用養生シート工：	1	日	×	1	回	=	1	日
標準施工日数合計：	5	+	5	+	1	=	11	日
					11 日 × 12月/年/365日/年	=	0.4	ヶ月
負圧集塵装置, 真空掃除機, エアシャワー供用日数：	11	日	×	1.7	(不稼働係数)	=	19	日
						=	0.6	ヶ月
					※ (22. 28+21. 38)	≒	1.0	ヶ月
吊足場気積=	幅	6.7 m	×	奥行	43.7 m	×	高さ	1.8 m
								= 526.54 m ³
負圧集塵装置・真空掃除機必要台数 =	気積	526.54 m ³	/15分	/	6 m ³ /分	=	6	台

品名	単位	数量	備考
負圧集塵装置	台・月	6	規格 : 5~7m ³ /min 6台 × 1ヶ月 = 6台・月
負圧集塵装置用 1次フィルター	枚	66	1日1枚使用/台 6台 × 11日 = 66枚
負圧集塵装置用 2次フィルター	枚	13	1週間1枚使用/台(実働5日間で1枚使用) 6台 × 11日 / 5日 = 13枚
負圧集塵装置用 HEPAフィルター	枚	6	3ヵ月1枚使用/台 6台 × 1枚 = 6枚 (11日 使用より 1枚分)
吸気用ダクト	m	50	525m ³ あたり100m使用→250m ³ あたり50m使用
排気用ダクト	m	50	525m ³ あたり100m使用→250m ³ あたり50m使用
真空掃除機	台・月	6	6台 × 1ヶ月 = 6台・月
真空掃除機用 1次フィルター	枚	13	1週間1枚使用/台(実働5日間で1枚使用) 6台 × 11日 / 5日 = 13枚
真空掃除機用 2次フィルター	枚	6	3ヵ月1枚使用/台 6台 × 1枚 = 6枚 (11日 使用より 1枚分)
真空掃除機用 HEPAフィルター	枚	6	3ヵ月1枚使用/台 6台 × 1枚 = 6枚 (11日 使用より 1枚分)
簡易 セキュリティルーム	台	1	
エアシャワー	台・月	1	1台1ヶ月 1台 × 1ヶ月 = 1台・月
エアシャワー用 1次フィルター	枚	2	1週間1枚使用/台(実働5日間で1枚使用) 1台 × 11日 / 5日 = 2枚
エアシャワー用 HEPAフィルター	枚	1	3ヵ月1枚使用/台 1台 × 1枚 = 1枚 (11日 使用より 1枚分)

橋梁架設工事の積算 令和8年度版 P4-147より

本数量は、本施工範囲を分割施工した場合の数量であり、一括施工の場合は、塗膜除去工数量集計を参照
1週間1枚使用/台については、週休2日を想定し5日で算出した。

安全衛生保護具

塗膜除去工：	250	m2	×	1	回塗り/50m2/日	=	5	日
廃材の回収・積込：	250	m2	×	1	回塗り/50m2/日	=	5	日
剥離剤用養生シート工：	1	日	×	1	回	=	1	日
標準施工日数合計：	5	+	5	+	1	=	11	日

品名	単位	数量	備考
電動ファン付呼吸用保護具	個	2	2人分
呼吸用保護具用フィルター	個	88	1日4個使用／人 2人 × 4個 × 11日 = 88個
使い捨て化学防護服	着	88	1日4着使用／人 2人 × 4着 × 11日 = 88着
防護手袋	組	88	1日4組使用／人 2人 × 4組 × 11日 = 88組
シューズカバー	足	88	1日4個使用／人 2人 × 4個 × 11日 = 88個

橋梁架設工事の積算 令和8年度版 P4-147より

本数量は、本施工範囲を分割施工した場合の数量であり、一括施工の場合は、塗膜除去工数量集計を参照

阿波市土木工事特記仕様書（令和 7 年 2 月 1 日以降適用）

（徳島県土木工事共通仕様書の適用）

第 1 条 本工事の施工にあたっては、「徳島県土木工事共通仕様書 令和 6 年 7 月」に基づき実施しなければならない。ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針、便覧等は改定された最新のものとする。なお、工事途中で改定された場合は、この限りでない。

また、「徳島県土木工事共通仕様書」に定めのないもので、機械工事の施工にあつては「機械工事共通仕様書（案）」（国土交通省総合政策局公共事業企画調整課）、電気通信設備工事にあつては「電気通信設備工事共通仕様書」（国土交通省大臣官房技術調査課電気通信室）に基づき実施しなければならない。

（徳島県土木工事共通仕様書に対する変更事項等）

第 2 条 「徳島県土木工事共通仕様書 令和 6 年 7 月」に対する変更事項は、次のとおりとする。

また、「徳島県土木工事共通仕様書令和 6 年 7 月」において、「徳島県公共工事標準請負契約約款」、「約款」とあるのは、「阿波市公共工事標準請負契約約款に関する規則（以下「約款」という。）」と読み替えるものとする。

第 1 編 共通編

第 1 章 総 則

第 1 節 総 則

1-1-1-1 適 用

1. 適用工事
削除

1-1-1-2 用語の定義

1. 監督員

監督員とは、主任監督員、現場監督員を総称していう。

なお、主任監督員の明示のない場合における現場監督員は主任監督員の権限を、現場監督員の明示のない場合における主任監督員は現場監督員の権限をそれぞれ併せて有するものとする。

2. 総括監督員

削除

3. 主任監督員

主任監督員とは、現場監督総括業務を担当し、主に、受注者に対する指示、承諾又は協議（軽易なものを除く。）の処理、受注者が作成した図面（軽易なものを除く。）の承諾を行い、また、契約図書に基づく工程の管理、立会、段階確認、工事材料の試験又は検査の実施（他のものに実施させ当該実施を確認することを含む。）で重要なものの処理、関連工事の調整、一時中止又は打切りの必要があると認める場合における「発注者」への報告を行う者をいう。

1-1-1-8 監督補助員

受注者は、設計図書で監督補助員の配置が明示された場合は、次の各号によらなければならない。

- (1) 受注者は、監督補助員が監督員に代わり現場に臨場し、立会等を行う場合には、その業務に協力しなければならない。また、書類（計画書、報告書、データ、図面等）

の提出に際し、説明を求められた場合にはこれに応じなければならない。

(2) 監督補助員は、約款第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しないものである。ただし、監督員から受注者に対する指示、通知等を監督補助員を通じて行うことがある。

(3) 受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、監督補助員を通じて行うことができる。

1-1-1-9 現場技術員

受注者は、設計図書で建設コンサルタント等に委託した現場技術員の配置が明示された場合は、次の各号によらなければならない。

(1) 受注者は、現場技術員が監督員に代わり現場に臨場し、立会等を行う場合には、その業務に協力しなければならない。また、書類（計画書、報告書、データ、図面等）の提出に際し、説明を求められた場合にはこれに応じなければならない。

(2) 現場技術員は、約款第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しないものである。ただし、監督員から受注者に対する指示、通知等を現場技術員を通じて行うことがある。

(3) 受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、現場技術員を通じて行うことができる。

1-1-1-11 工事着手

受注者は、設計図書に工事に着手すべき期日について定めのある場合を除き、特別の事情がない限り、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

1-1-1-12 工事の下請負

1. 一般事項

受注者は、下請負に付する場合には、以下の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。

(1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。

(2) 下請負者が、阿波市の入札参加資格者である場合には、入札参加資格停止期間中でないこと。

(3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。

(4) 受注者は、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。

2. 下請負人の優先選定

受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、阿波市内に主たる営業所を有する者の中から優先して選定するよう努めなければならない。

なお、設計金額が1億円以上の工事にあつては、阿波市内に主たる営業所を有する者以外と下請契約する場合は、阿波市内企業を選定できない理由を記載した文書を事前に監督員に提出しなければならない。

1-1-1-14 土木施工管理技術検定制度等の活用

1. 当初請負対象金額4,500万円以上9,000万円未満の土木一式工事または舗装工事
削除

2. 当初請負対象金額9,000万円以上の土木一式工事または舗装工事
削除

1-1-1-15 現場代理人及び主任技術者等

1. 選任通知

(1) 受注者は、「現場代理人及び主任技術者等選任通知書」（以下「選任通知書」という。）を、総合評価落札方式の場合は落札候補者となった時点で工事発注担当者へ、その他の場合は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 14 日以内に監督員へ提出し、確認を受けなければならない。ただし、共同企業体の場合は、代表構成員は現場代理人及び主任技術者又は監理技術者を選任することとし、その他の構成員は主任技術者を選任することとする。なお、この選任通知書の提出後、その内容を変更しようとする場合は、監督員と協議しなければならない。また、監督員との協議により変更が認められたときは、変更日から土曜日、日曜日、祝日等を除き 14 日以内に監督員に変更した選任通知書を提出し、確認を受けなければならない。

(2) 削除

(3) 受注者は、選任通知書提出時に次のものを提示しなければならない。なお、提示物は写しでも可とする。

① 現場代理人と受注者（共同企業体の場合は代表構成員）との直接的かつ恒常的な雇用関係が確認できるもの（健康保険証等）。

② 主任技術者又は監理技術者と受注者（共同企業体の場合は各構成員）との直接的かつ恒常的な雇用関係が確認できるもの（健康保険証等）。ただし、監理技術者資格者証で確認できる場合は、この限りでない。なお、入札参加資格として技術者の専任配置が求められた工事における主任技術者又は監理技術者は、開札日（随意契約は見積書提出日）以前に受注者と 3 ヶ月以上の雇用関係がなければならない。

(4) 受注者は、選任通知書に次のものを添付しなければならない。

① 主任技術者又は監理技術者の資格又は実務経験

- ・建設業法第 7 条第 2 号ハ、及び同法第 15 条第 2 号イ又はハに該当する有資格者（土木施工管理技士等）については、技術者取得資格証明書（技術検定に合格した者については、合格証明書受領までの期間（合格通知書の交付日より半年程）は合格通知書で可）

- ・建設業法第 7 条第 2 号イ又はロ、及び同法第 15 条第 2 号ロに該当するものについては、実務経験証明書

② 監理技術者を選任した場合（下請金額の総額が 5,000 万円以上）は、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証（それぞれ表、裏とも）

7. その他、現場代理人及び主任技術者等に関する取扱いについて

受注者は、上記 1～6 のほか、現場代理人及び主任技術者等に関する取扱いについては、阿波市が定める「現場代理人、主任技術者等の適正な配置について」「現場代理人の常駐義務緩和に関する取扱要領」によらなければならない。

1-1-1-16 受発注者間の情報共有

発注者及び受注者は、受発注者間の設計思想の伝達及び情報共有を図るため、設計者、受注者、発注者が一堂に会する会議を施工者が設計図書の照査を実施した後及びその他必要に応じて開催することを協議できる。

1-1-1-19 工事の一時中止

4. 「徳島県土木工事の一時中止に係るガイドライン（案）」について

発注者及び受注者は、上記 1 ～ 3 のほか、工事の全部又は一部の施工について一時中止する場合は、「徳島県土木工事の一時中止に係るガイドライン（案）」を参考とする。

1-1-1-20 設計図書の変更

設計図書の変更とは、入札に際して発注者が示した設計図書を、発注者が指示した内容及び設計変更の対象となることを認めた協議内容に基づき、発注者が修正することをいう。

なお、発注者又は監督員と受注者は、設計図書の変更に係る業務の円滑化を図るため、

「阿波市土木工事設計変更ガイドライン」に基づき、対等の立場で合議し、信義に従って誠実に契約を履行するものとする。

1-1-1-21 工期変更

1. 一般事項

約款第 15 条第 7 項、第 17 条第 1 項、第 18 条第 5 項、第 19 条、第 20 条第 3 項、第 22 条第 1 項、第 23 条第 1 項及び第 41 条第 2 項の規定に基づく工期の変更について、約款第 24 条第 1 項の工期変更協議の対象であるか否かを監督員と受注者との間で確認する（本条において以下「事前協議」という。）ものとし、監督員はその結果を受注者に通知するものとする。

1-1-1-24 建設副産物

2. マニフェスト

受注者は、建設副産物が搬出される工事においては、建設発生土は建設発生土搬出調書、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は受渡確認票（電子マニフェスト）により、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。また、産業廃棄物管理票又は受渡確認票の写しを工事しゅん工検査請求書提出時までに監督員に提示しなければならない。

なお、当初契約図書に明記された搬出先から変更があり、かつ、搬出先が建設発生土処分場である場合は、監督員に建設発生土処分場確認書を提出しなければならない。

8. 建設リサイクル法通知済証の掲示

受注者は、一定規模以上の工事においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかななければならない。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。

1-1-1-25 監督員による確認及び立会等

4. 遵守義務

受注者は、約款第 9 条第 2 項第 3 号、第 13 条第 2 項又は第 14 条第 1 項若しくは同条第 2 項の規定に基づき、監督員の立会を受け、材料の確認を受けた場合にあっては、約款第 17 条及び第 32 条に規定する義務を免れないものとする。

5. 段階確認

段階確認は、阿波市が定める「土木工事における段階確認実施要領」に基づいて行うものとする。

1-1-1-28 工事完成図書等の納品

1. 工事完成図書の納品

(1) 受注者は、約款、共通仕様書等に規定する書類を監督員に提出しなければならない。
なお、様式が定められていないものは、監督員の指示によらなければならない。

(2) 削除

2. 電子納品

削除

1-1-1-29 しゅん工検査

6. 検査対応

受注者は、阿波市工事検査規程に基づく軽微な破壊検査が行えるよう準備しなければならない。この場合において、検査における掘削、破壊、削孔、抜き取り等の箇所は、検査後、直ちに復旧しなければならない。

1-1-1-30 部分払検査等

7. 中間前払金の請求

受注者は、約款第 35 条に基づく中間前払金の請求を行うときは、公共工事の中間前金払事務取扱要領に基づき中間前金払認定請求書及び工事履行報告書を作成し、当該中間前払金に関する保証契約に係る保証証書を添えて、工事発注担当者に提出しなければならない。

1-1-1-31 中間検査

1. 一般事項

受注者は、阿波市工事検査規程に基づく、中間検査を受けなければならない。

1-1-1-33 施工管理

3. 標示板の設置

受注者は、施工に先立ち工事現場又はその周辺の一般通行人等が見やすい場所に、工事目的、工期、発注者名、受注者名、連絡先、電話番号等を記載した標示板（工事看板）を設置し、工事完成後は速やかに標示板を撤去する。ただし、標示板の設置が困難な場合は、監督員と協議し、しかるべき処置を講じなければならない。

なお、標示板の記載にあたっては、実際の現場作業期間や時間帯など、工事に関する情報をわかりやすく記載するものとする。

また、記載内容については、工事内容に応じて、阿波市が定める「工事現場における標示施設等の設置基準」を参考にするものとする。

9. 工事情報共有化

削除

12. 賃金水準確保等に関するポスター掲示

受注者は、監督員から技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスターの掲示指示があった場合、工事関係者が見やすい場所に掲げるとともに、掲示状況について工事写真として提出しなければならない。

1-1-1-35 週休二日の対応

受注者は、原則、週休二日に取り組むよう努めなければならない。

1-1-1-36 工事関係者に対する措置要求

2. 技術者に対する措置

発注者又は監督員は、主任技術者、監理技術者、監理技術者補佐及び専門技術者（これらの者と現場代理人を兼務する者を除く。）が工事目的物の品質・出来形の確保及び工期の遵守に関して、著しく不相当と認められるものがあるときは、受注者に対して、その理由を明示した書面により、必要な措置をとるべきことを請求することができる。

1-1-1-37 工事中の安全確保

6. 架空線等事故防止対策

受注者は、架空線等上空施設の位置及び占用者を把握するため、工事現場、土取り場、建設発生土受入地、資材等置き場等、工事に係わる全ての架空線等上空施設の現地調査（場所、種類、高さ等）を行わなければならない。

1-1-1-40 事故報告書

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡する。

1-1-1-43 交通安全管理

16. 交通誘導警備員の勤務実績報告

受注者は、交通誘導警備員を配置した場合は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、1ヶ月ごとに勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに、監督員に提出しなければならない。

なお、受注者は、合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員に提出しなければならない。また、検定合格警備員は、当該業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員の請求があったときは、これを提示しなければならない。

1-1-1-55 阿波市内産技術等の優先使用

受注者は、阿波市内企業が開発した技術等（技術、材料、工法）を優先して使用するよう努めるものとし、使用できない場合は、県内企業が開発した技術等（技術、材料、工法）を優先して使用するよう努めるものとする。

1-1-1-57 しゅん工標の設置

削除

1-1-1-60 暴力団等からの不当要求又は工事妨害の排除

受注者は、工事の施工に関し、暴力団等から不当要求又は工事妨害を受けた場合には、阿波市が定める「暴力団等による建設工事への不当介入対応マニュアル」により対応しなければならない。

1-1-1-62 市内在住者の優先雇用【追加項目】

受注者は、工事の施工に際して、作業員等の雇用を必要とする場合は、阿波市内に住所を有する方を優先して雇用するよう努めなければならない。

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

第3節 レディーミクストコンクリート

1-3-3-2 工場の選定

5. 阿波市内の工場の選定【追加項目】

受注者は、レディーミクストコンクリートを使用する工事を施工する場合、阿波市内の工場から出荷されたレディーミクストコンクリートを使用するよう努めなければならない。

第2編 材 料 編

第1章 一般事項

第3節 阿波市内産資材等

2-1-3-1 阿波市内産資材の原則使用

1. 一般事項

受注者は、建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として阿波市内産資材の使用に努め、使用できない場合は県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。

なお、WTO対象工事については、阿波市内産資材及び県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。

阿波市内産資材【県内産資材】（次のいずれかに該当するもの）

① 材料の主な部分を阿波市内産出【県内産出】の原材料を使用している製品

② 阿波市内【徳島県内】の工事で加工、製造された製品

注1 部材、部品が阿波市外製品【県外製品】であっても、阿波市内の工場【県内の工場】で加工製造した製品（二次製品）であれば阿波市内産資材【県内産資材】として取り扱う。

注2 阿波市内企業が市外【県内企業が県外】に立地した工場（自社工場）で加工製造した製品も阿波市内産資材【県内産資材】として取り扱う。

注3 徳島県土木工事共通仕様書、公共建築工事標準仕様書その他関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。

※県内産資材については【】内の記載内容で読み替えるものとする。

2. 阿波市内産資材等を使用できない場合の理由書の提出

受注者は、阿波市内産資材以外の資材を使用する場合は、事前に監督員へ阿波市内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料の提出が必要か確認を行い、指示に従うものとする。

また、受注者は、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員へ提出し、承諾を得なければならない。

2-1-3-2 阿波市内産原材料等の優先使用

受注者は、建設資材を使用する工事を施工する場合、阿波市内産出の原材料を用いた資材を優先して使用するよう努めるものとし、使用できない場合は、県内産出の原材料を用いた資材を優先して使用するよう努めるものとする。

2-1-3-3 阿波市内企業調達資材等の優先使用

受注者は、阿波市内に主たる営業所を有する者から調達した資材（以下「阿波市内企業調達資材」という。）を優先して使用するよう努めるものとし、使用できない場合は、県内に主たる営業所を有する者から調達した資材（以下「県内企業調達資材」という。）を優先して使用するよう努めるものとする。

なお、阿波市内企業調達資材以外を使用する場合は、事前に監督員へ阿波市内企業調達資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料の提出を行い、指示に従うものとする。

また、県内企業調達資材以外を使用する場合は、県内企業調達資材を使用できない理由書を記載した書面及び確認資料を事前に監督員へ提出しなければならない。

2-1-3-4 阿波市内産再生砕石の原則使用

受注者は、再生砕石を使用する工事を施工する場合、阿波市内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を原則として使用するものとし、使用できない場合は、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を使用しなければならない。

第2章 土木工事材料

第4節 木材

2-2-4-2 阿波市産木材等の使用

1. 阿波市産等の木製型枠の使用

受注者は、コンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として阿波市産木材を使用した型枠（阿波市産木製型枠）の使用に努め、使用できない場合は、県産木材を使用した型枠（県産木製型枠）を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。

2. 工事看板等への阿波市産木材等の使用

受注者は、工事において使用する工事看板・バリケード等については、阿波市産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努め、使用できない場合は、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めるものとする。

3. 産地証明書類の提出

受注者は、阿波市産木材又は県産木材を使用する場合は、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しを監督員へ提出しなければならない。ただし、県内の森林から直接調達するなど、「産地認証」証明書がない場合は、木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。

第3編 土木工事共通編

第1章 一般施工

第3節 共通的工種

3-1-3-25 銘板工

1. 橋名板

受注者は、親柱又は袖柱の橋名板を次の位置に取り付けなければならない。

- (1) 漢字の橋名は、阿波市役所に向かって左側か若しくは道路起点側から見て左側親柱の正面とする。
- (2) しゅん工年月は、阿波市役所に向かって右側か若しくは道路終点側から見て左側親柱の正面とする。
- (3) ひらがなの橋名は、阿波市役所を背にして橋に向かって左側か若しくは道路終点側から見て右側親柱の正面とする。
- (4) 河川名等は、阿波市役所を背にして橋に向かって右側か若しくは道路起点側から見て右側親柱の正面とする。

3-1-3-34 境界工

3. 設置位置

受注者は、境界杭（鉾）の設置にあたっては、設計図書に示す場合を除き、杭の中心点を用地境界線上に一致させ、文字「阿波市」が内側（官地側）になるようにしなければならない。

第14節 法面工（共通）

3-1-14-2 植生工

19. 契約不適合責任期間

植生における約款第42条第2項の契約不適合責任期間は1年間とする。

第6編 河川編

第1章 築堤・護岸

第11節 付帯道路工

6-1-11-10 集水枿工

集水枿工の施工については、第3編3-1-3-30 集水枿・マンホール工の規定による。

第3章 築堤・護岸

第1節 付帯道路工

3. 適用規定（2）

構造物撤去工、仮設工は、第3編第1章第9節構造物撤去工、第10節仮設工の規定による。

第7節 水路工

6-3-7-4 集水枿工

集水枿工の施工については、第3編3-1-3-30 集水枿・マンホール工の規定による。

第8章 河川維持

第6節 構造物補修工

6-8-6-4 ボーリンググラウト工の施工

14. コーキングの実施

受注者は、注入中、堤体等にセメントミルクの漏えいを認めたときには糸鉛、綿鉛、モルタルによりコーキングを行わなければならない。

第9章 河川修繕

第7節 管理用通路工

6-8-6-4 排水構造物工

2. 適用規定 (2)

排水構造物工のうち、集水枳工、人孔、蓋の施工については、第3編 3-1-3-30 集水枳・マンホール工の規定による。

第7編 河川海岸編

第1章 堤防・護岸

第5節 護岸基礎

7-1-5-6 海岸コンクリートブロック工

6. 養生

受注者は、コンクリート打設後の施工については、第1編 1-3-6-9 養生の規定によらなければならない。

なお、養生用水に海水を使用してはならない。

第12節 排水構造物工

7-1-12-4 集水枳工

集水枳工の施工については、第3編 3-1-3-30 集水枳・マンホール工の規定による。

第14節 付帯道路工

7-1-14-2 作業土工（床掘り・埋戻し）

作業土工の施工については、第3編 3-1-3-3 作業土工（床掘り・埋戻し）の規定による。

7-1-14-9 集水枳工

集水枳工の施工については、第3編 3-1-3-30 集水枳・マンホール工の規定による。

第9編

第3章

第4節

9-3-4-7 注入

10. 漏えい対策

受注者は、注入中、岩盤表面等へのセメントミルクの漏えい等に注意をはらい、セメントミルクの漏えいを認めたときには、糸鉛、綿糸、モルタルによりコーキングを行わなければならない。

第10編 道路編

第1章 道路改良

第1節 適用

2. 適用規定 (1)

道路土工、構造物撤去工、仮設工は、第1編第2章第4節道路土工、第3編第1章第9節構造物撤去工、第10節仮設工の規定による。

第2章 舗装

第7節 踏掛版工

10-2-7-1 一般事項

3. 適用規定

受注者は、踏掛版工の施工については、「道路土工－盛土工指針」（日本道路協会）の踏掛版及び施工の規定、第10編 10-2-7-4 踏掛版工の規定によらなければならない。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。